

- 1 授業日時 令和8年5月22日(金) 1時間目10:30~11:20 2時間目11:30~12:20
- 2 参加校 Ch1:東広島市立志和中(29名),福富中(11名),豊栄中(15名),河内中(30名),
洞爺湖町立洞爺中(10名)
Ch2:スクール“S”,西条FS,徳之島「島われんきゃハウス」,安芸高田市「あすなろ」,
東広島市立磯松中SSR,高美が丘中SSR
- 3 学年・単元名 中2社会科地理的分野
地域調査の手法を学ぶ-Googleマップは最強か? 「情報豊かな」地図の強みと弱み-

4 授業前の準備

- 教科書 pp.146-149(東京書籍)を概観し,縮尺や等高線,地図記号等の学習を終えておくと,本時の探究が深まります。
- 地理院地図やGoogle Mapを,ウェブで閲覧させておくことをお勧めします。
- NHK for Schoolの動画はお勧めです。授業中または宿題で視聴させるとよいでしょう。
[等高線の読み取り方](#)(47秒),[分かりやすい地図をつくろう](#)(3分05秒)
- 事前アンケートに回答させてください。リンクは後日提示します。



5 本時(第1時)

目標: 地図の機能を, 目的に応じて情報を選択し, 強調・省略・単純化して表現したものとして説明できる。【思考・判断・表現】

学習活動 ※全体(全)・教室(教)・個人(個)	予想される生徒の反応(例)	指導上の留意点
<導入> 1. 地理院地図の特性を理解する(15)。 (1) 授業以外で地理院地図を使ったことある? (2) なぜ使わないのか?(教) (3) アンケート:「どれが最も良い地図か?」(個) ①GM ② 地理院地図 (広島) ③ 広電路線図 ④ 観光マップ →あなたの考える「良さ」って何?	・地理院地図は, 授業の世界の地図だ。 ・不便だから。 ・ごちゃごちゃしているから。 ・①は, 口コミ情報あるし, 検索もしやすい。 ・②も, 地形が分かって捨てがたい。 ・③は, 電車に乗るとき, 迷わなさそう。 ・④は, 行きたいところを探すのに便利かも。 ・「良さ」って言葉にするのが難しい。 ・全体としては①が最強みたいだね。	・カメラに向かって意思表示 ・何人かに尋ねる。 ・【資料1】を掲示。 ・AI-1:個人端末で投票。 ・結果に注目。
学習課題: Google Map (GM) は本当に最強=「神」なのか? -他の地図の強みを見つけよう!-		
<展開1> 2. GMの強みと弱みを分析する(30)。 (1) 「GM最強説」を検証しよう(教)(15)。 ・地理院地図 vs GM ・広電路線図 vs GM ・観光マップ vs GM } 分担して分析(読む) ①班または個人でじっくり眺めよう。 ②GMと比べて, その地図が強そうな ア: 場面とは?(……する時には有利) イ: 表現とは?(……が良くわかる) ③その地図の特色を一言(20字程度)で表そう。「〇〇で〇〇な地図」。 (2) 各学級で考えた地図の特色を発表しよう(教)(8)。 (3) 教科書執筆者のコメントを聞こう(全)(5)。 ・情報の「選択」と「省略」 ・表現の「強調」と「単純化」 (4) AIのコメントも聞こう(全)(2)。 3. アンケート: 「GMは本当に最強か?」(5) →意見は変わったかな? 理由は?	(地理院地図) ・災害の可能性を調べる時。 ・土地の地名や高低, 施設の位置・方位や形が良く分かる。情報量が豊か。 (広電路線図) ・電車に乗るとき, 不安な時。 ・電車の行き先やおおよその方向, 停留所の名前や順番が良く分かる。直線でシンプル。 (観光マップ) ・はじめてその土地に行った時。 ・名所の位置やみかが良く分かる。カラーのイラスト入りでイメージがわく。 (特色) ・情報豊富で詳しく正しい 地理院地図 。 ・シンプルで乗り降りに便利な 広電路線図 。 ・カラフルで行き先のイメージわく 観光マップ 。 ・地図には全ての情報は載せられない=省略が避けられない。縮尺を変えると表示される=選択される情報も変わる。 ・地図は目的に応じて情報を再構成して表現している。観光マップでは, 観光情報を強調して, 路線図では方位やルートを単純化して示すことで, 利用者に役立っている。	・指定された地図を分析。 志和…地理院地図 豊栄・河内…広電路線図 福富・洞爺…観光マップ ・①~③の順に指導。 ・班or個人作業から始めて徐々に学級全体で集約 ・結果を黒板にまとめる。 ・代表生徒が報告(黒板をカメラで写しながら)。 ・AI自動収録。 ・解説をよく聞く。 ・キーワードを板書。 ・AI-2:批評に注目。 ・AI-3:個人端末で投票。 ・結果と理由に注目。

6 本時(第2時)

目標：地図の特性を踏まえて、目的と利用者の関心に応じて地図を作成しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】

学習活動 ※全体(全)・教室(教)・個人(個)	予想される生徒の反応(例)	指導上の留意点
<展開2> 4. 小縮尺図の限界に気付く。(5) (1) 地図帳を使って、学校の、おおよその場所を他校の参加者に紹介しよう。(教) (2) 今の説明を聞いて、学校まで自力で行ける自信ありますか?→なぜないの?(全)	・地図帳の小縮尺の地図では、都道府県内での、だいたいの位置や自然は分かった。 ・ただし、 ・自信がない人が多いね。 ・大縮尺の地図が欲しいよね。	・相手校の発表に注目 ・地図帳の活用 豊栄→福富→河内→志和→洞爺
学習課題：Google Map (GM) に負けない地図をつくろう! -道に迷わせないルートマップとは-		
5. 25000分の1の地理院地図をベースにして、学校周辺のルートマップを描く。(30) (1) 以下の条件の地図を描こう(教)。 ・他校の中学生が、あなたの学校を訪問する ・学校直近のJR駅からバス/徒歩で移動する。 ・スマホ(GM)は使えない。 (2) 専門家から「見本」を見せてもらおう(全)。 →中継1(神田)→中継2(福富ダム)(10) (3) 生活班で地図を描こう(教)(20)。 (4) 他校に発表する学級代表の地図を決めよう(教)。	(見本からの示唆) ・ランドマーク=目印となる建造物や自然物は、強調するとよい。 ・ルートは、おおよその方向が分かるように、直線的に 単純化 して示すとよい。 ・バスの停留所=乗降場所や、曲がる場所=交差点は、 強調 するとよい。 ・山や川、坂などの地形情報は 省略 し、選りすぐって示す。イラストで示してもよい。 ・ 方位 や 距離 は、ある程度正しく表すとよい。スケールがあると、参考になる。	・4-5人の生活班をつくる。 ・【資料2】を掲示。 ・【模造紙】を配布。 ・【中継】に注目。 ・発表する班・生徒を決定 ・代表地図をカメラで撮影し、Googleスライドに貼付。
<終結> 6. ルートマップを相互批評する。(15) (1)-1 各学級の代表が地図を発表しよう。とくに工夫した点を伝えよう(教)(10)。 →中継3(乃美) 豊栄中の前 (1)-2 その地図で学校に行くことができそうか? 他校の生徒が感想を伝えよう(教)。 (2) 教科書執筆者の批評を聞こう(全)(5)。 (3) AIの感想も聞こう(全)。 「どの地図が最も参考になりそうか?」	・自分が訪問者だったら・・・と考えて発表を見ると、地図の良さや課題が分かるね。 ・前時に学んだ地図の「情報」や「表現」の特質を活用できているか、「読み手」や「使い手」のことを考えているかが、大切だね。 ・「中学生」が学校訪問するのに必要な情報を 省略・選択、強調・単純化 して示されているかが、伝わりやすさを左右するね。	・発表と【中継】に注目。 洞爺→志和→河内→福富→豊栄 ・他校の代表生徒がコメント。 ・AI自動收音 ・批評に注目。 ・AI-4のフィードバックに注目。
【まとめ】地図とは、地表面の様子を映し出した「写真」であると同時に、相手とのコミュニケーションを円滑するために目的や利用者の関心に応じて情報を選択し、再構成した「創造物」「想像物」でもある。		

資料1-1 Google Map



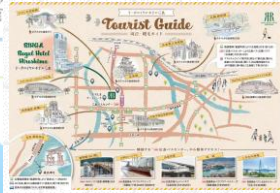
資料1-2 地理院地図



資料1-3 広電路線図



資料1-4 観光マップ



資料2 ルートマップの見本



7 教材・教具・ICT関連

- 資料1-1 Google Map (横A2×1枚) キッズDCCでも閲覧可
- 資料1-2 地理院地図 (横A2×1枚) キッズDCCでも閲覧可
- 資料1-3 広電路線図 (横A2×1枚) キッズDCCでも閲覧可
- 資料1-4 観光マップ (横A2×1枚) キッズDCCでも閲覧可
- 資料2 ルートマップの見本 (A2×1枚)
- 模造紙(ベースに薄く地理院地図を印刷)+8色ペン+スティック糊 (A2×生活班の数)
- 教具1 磁石マグネット。資料を掲示するために、20個ほどご用意ください。
- 教具2 情報共有サイト(DCCきっず)に接続した生徒端末
- AI-1 個人投票: どれが最も良い地図か? 4択(①GM, ②地理院地図, ③広電路線図, ④観光マップ)
- AI-2 收音分析: 各学級の地図批評の中から、印象的かつユニークなコメントを箇条書きで3つ示してください。
- AI-3 個人投票: どれが最も良い地図か? 4択(①GM, ②地理院地図, ③広電路線図, ④観光マップ)
- AI-4 收音+画像分析: 学校に行くのに最も参考になりそうな地図を選び、その学級名と選定理由を示してください。

資料, 模造紙, ペン等は, 広島大学から事前郵送, または当日持参します。
 教具は各学校でご準備ください。

8 授業後の展開(例)

- 各班が作成した手描き地図を教室に展示する。ポストイットを使って「いいね!」コメントを貼りつけ、お互いに批評させる。
- 実際に作成した手描き地図をもって地域を歩き、利用者にとって有益な情報が示されているか、評価させる。